



ダイキン工業株式会社
電子システム事業部
営業部 HAS グループ



第10版 2024年12月 3日

ダイキン工業株式会社
電子システム事業部

空調・衛生・電気 オールインワン設備CAD



【 工程表マニュアル 】

平素より、建築設備CAD『FILDER CeeD』ならびに弊社空調製品をご愛顧頂きまして、誠に有難うございます。

本書では、FILDER CeeD で工程表をお使い頂けるように作成しております。

また、FILDER CeeD (バージョン 3.1 以降) は Windows11 に対応していますが、本書の画面イメージや操作説明は、Windows10 のものを使用しています。

ご 注 意

- ・ 本製品または本書は、本製品の使用許諾契約書に基づいて使用することができます。
- ・ 本書の全部または一部を、ダイキン工業株式会社の書面による許可を得ることなく複写、複製、転用することはできません。
- ・ 本書の記載内容は、バージョンアップ等の理由により予告なく変更することがあります。
- ・ 本書の出版にあたっては正確な記述に努めましたが、本書の内容に対してなんらかの保証をするものではなく、内容やサンプルに基づいた運用結果に関しても一切の責任を負いかねます。
- ・ 本書の記載内容は、お客様固有の問題に対して必ずしも同じ状況が再現されているとは限りません。結果についてはいかなる保証も責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です。
- ・ その他、マニュアルに記載されている会社名、製品名は、一般に各社、個人の登録商標または商標です。

目次

I. システム要件とセキュリティ設定	1
I - 1. システム要件	1
I - 2. セキュリティの設定変更	1
II. インストール	3
II-1. 工程表のインストール	3
II-2. FINDER CeeD ユーザツール登録	5
III. 工程表の起動と保存	7
III - 1. 工程表ツールの起動	7
III - 2. 工程表の保存	8
IV. 日付ツール	9
IV - 1. 日付ツール操作方法	9
IV - 2. 工程表用力レンダの作成仕様	10
1. 日付間隔を7日で指定した場合	10
2. 日付間隔を10日で指定した場合	10
IV - 3. 印刷設定	10
V. 行程表作図ツール	11
V - 1. 工程表作成ツールの操作方法	11
V - 2. 工程線設定	12
1. 工程線作図ボタン	12
2. 工程名を記入する	13
3. 工程線の設定	14

I. システム要件とセキュリティ設定

工程表ツールは Excel アドイン、及びマクロを使用しておりますので、工程表ツールを使用するには Excel のオプションよりセキュリティ設定を行い、マクロを実行可能な状態にしておく必要があります。

I - 1. システム要件

OS	Windows10 (64bit) Windows11
CPU	i5 相当以上
メモリ	2GB 以上
対応 Excel バージョン	Microsoft Excel2016、2019、365 (32bit 版、64bit 版)
プログラム形式	Microsoft Excel 上で作動するプログラムとして提供

※ Excel2013 以前をご使用の環境では、右画像のメッセージが表示されます。



※注意※

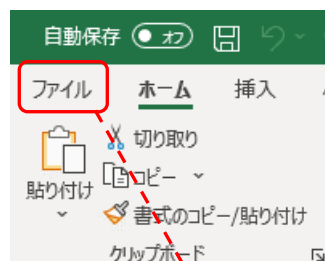
他社のアドインツール等がインストールされている場合、工程表ツールが動作しない場合があります。



I - 2. セキュリティの設定変更

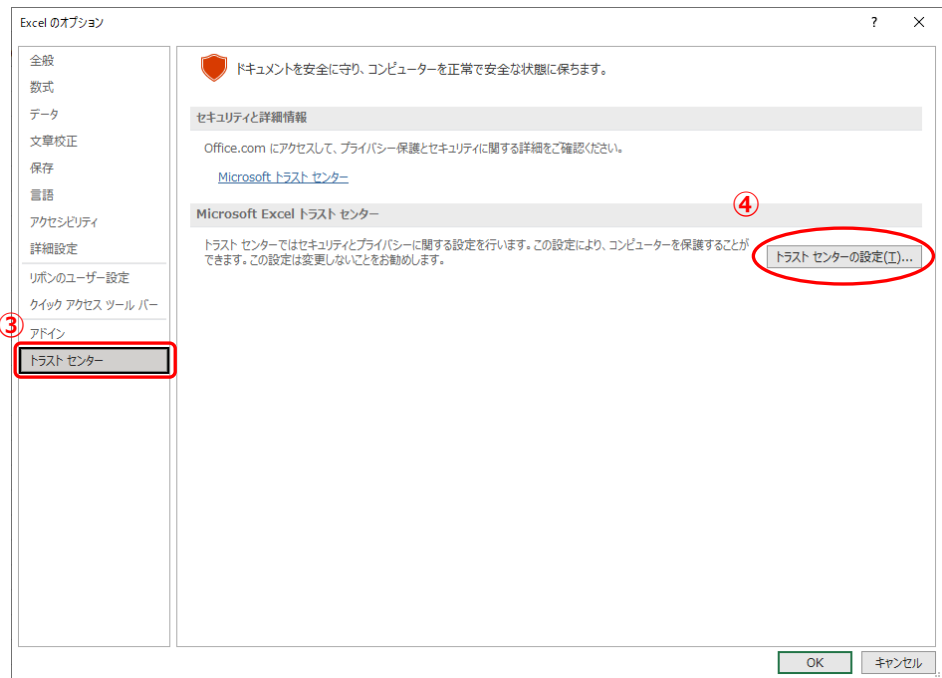
操作説明

- ① Excel を起動します。
- ② 「ファイル」タブをクリックし、左側一覧から「オプション」を選択します。



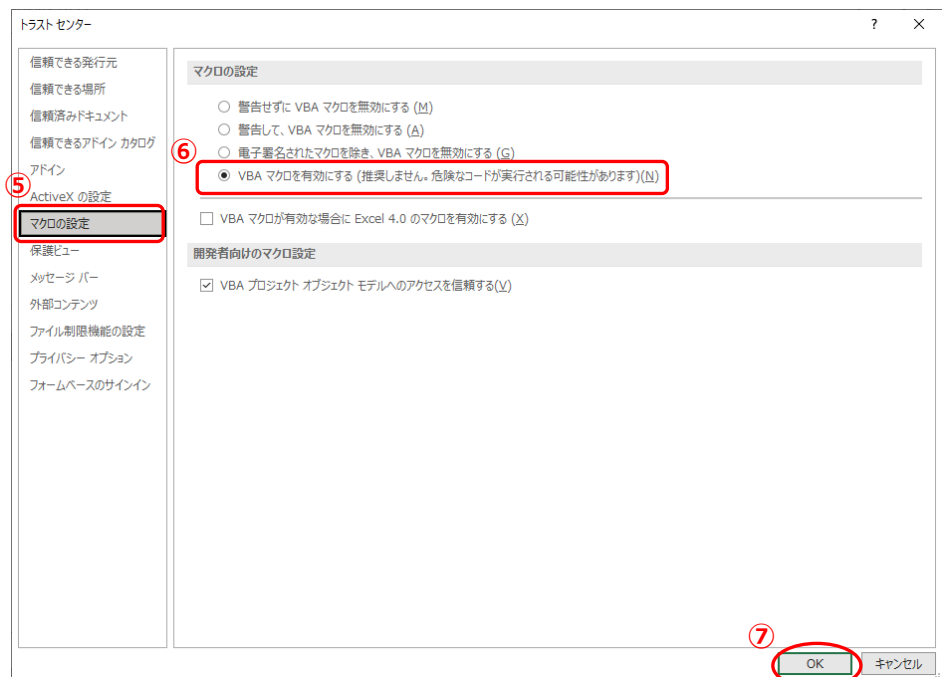
- ③ 左側一覧から「トラストセンター（旧バージョンの場合、「セキュリティセンター」）」を選択します。

- ④ 「トラストセンターの設定（旧バージョンの場合「セキュリティセンターの設定」）」ボタンをクリックします。



- ⑤ 左側一覧から「マクロの設定」を選択します。

- ⑥ 「すべてのマクロを有効にする」を選択します。



- ⑦ 「OK」ボタンをクリックします。

Ⅱ. インストール

Ⅱ-1. 工程表のインストール

Excel が 2 種類以上インストールされている環境では工程表ツールを正しくインストールできない場合があります。

このような環境では、工程表ツールを使用する Excel により以下のインストールを実行してください。

Excel の 32Bit か 64Bit の確認方法は、インストールメニューの「工程表インストール前確認事項」をご参照ください。

(1) 32bit 版 Excel の場合

「Network process chart」 - 「x86」フォルダ以下の「setup.exe」を実行してください。

(2) 64bit 版 Excel の場合

「Network process chart」 - 「x64」フォルダ以下の「setup.exe」を実行してください。

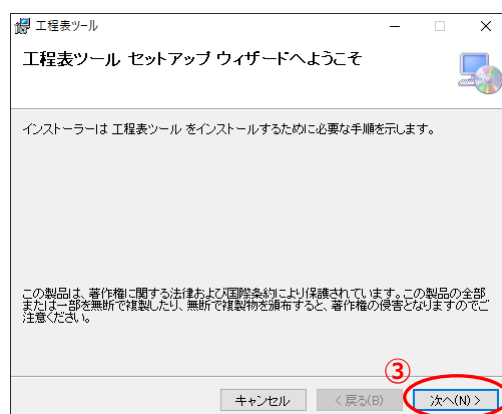
操作説明

- ① ポータルサイトからダウンロードした場合は、「CeeDV * * * * _ * * *.exe」をダブルクリックします。
または、下記手順でFILDER CeeDのインストールディスクをDVDドライブにセットし、「autorun.exe」を起動します。
 - (1) 画面左下のWindowsマークを右クリックし、ショートカットメニューから「エクスプローラ(E)」を選択します。
 - (2) 「エクスプローラ」ダイアログが表示されますので、左側一覧から「PC」を選択します。
 - (3) デバイスとドライブにDVDドライブを右クリックし、ショートカットメニューから「開く」を選択します。
 - (4) フォルダ内にある「autorun.exe」をダブルクリックします。
- ② FILDER CeeDのインストールメニュー画面が表示されます。
「工程表ツール インストール」をクリックします。

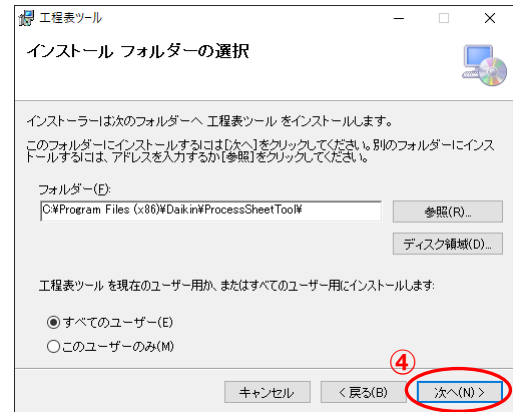
※ 画像は総合プロテクタ版でご説明しております。



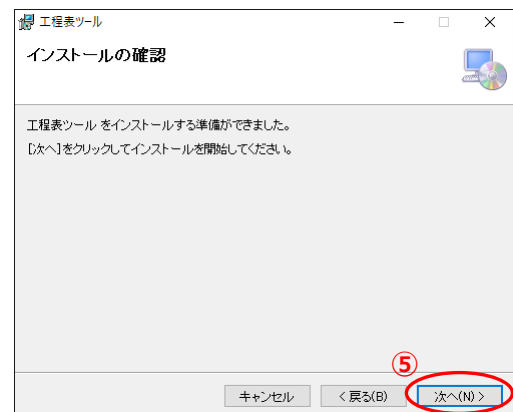
- ③ 「次へ」ボタンをクリックします。



- ④ 「次へ」ボタンをクリックします。

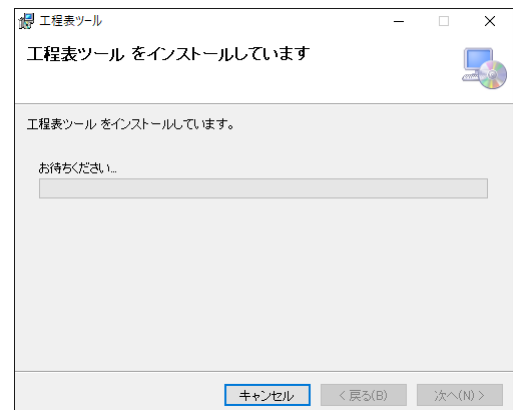


- ⑤ 「次へ」ボタンをクリックします。

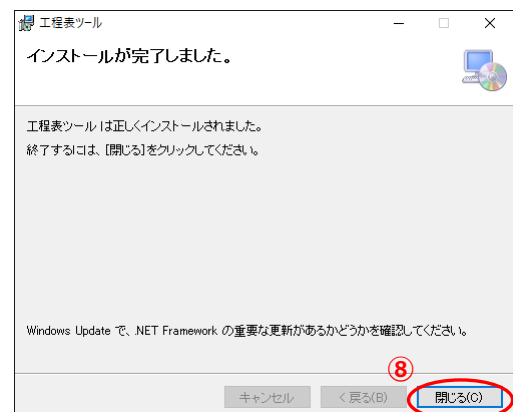


- ⑥ 「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されます。
「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」と表示されますので、「はい」ボタンをクリックします。

- ⑦ インストールが始まります。そのままお待ちください。



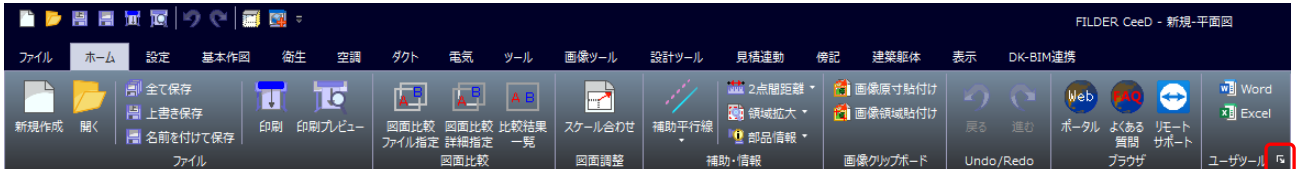
- ⑧ 「完了」ボタンをクリックします。



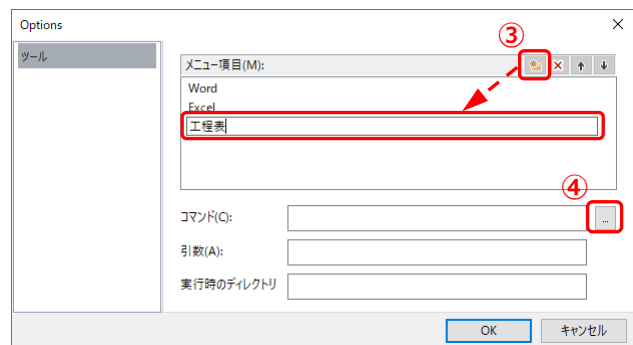
II-2. FINDER CeeD ユーザツール登録

操作説明

- ① FINDER CeeD を起動します。
- ② リボンメニューの「ホーム」タブの「ユーザツール」パネルの「」（矢印アイコン）をクリックします。
※ 「」が表示されていない場合、ヘルプボタン左の「リボンを折りたたむ」ボタンを、「」が表示されるまでクリックしてください。



- ③ 「Options」ダイアログが表示されますので、「新規」ボタンをクリックし、「工程表」とキー入力してメニュー項目を作成します。
- ④ メニュー項目で③で作成した「工程表ツール」を選択し、「コマンド (C)」欄の右側  ボタンをクリックします。

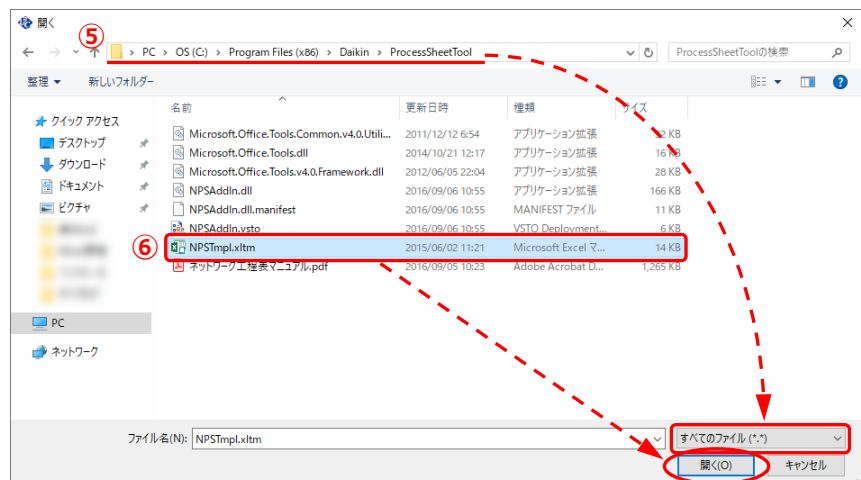


- ⑤ 「開く」ダイアログが表示されますので、下記フォルダを開き、ファイル名欄横の「実行可能ファイル (*.exe)」を「すべてのファイル (*.*)」に変更してください。

Excel の 32bit 版は「ProcessSheetTool」フォルダ、64bit 版は「ProcessSheetTool_x64」フォルダを開きます。

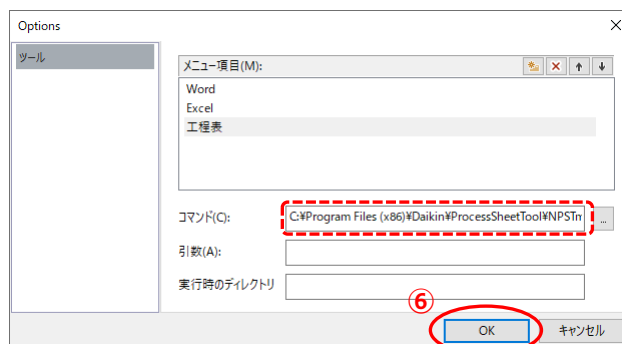
Excel が 32bit 版の方⇒「OS(C:)」-「Program Files (x86)」-「Daikin」-「ProcessSheetTool」

Excel が 64bit 版の方⇒「OS(C:)」-「Program Files」-「Daikin」-「ProcessSheetTool_x64」

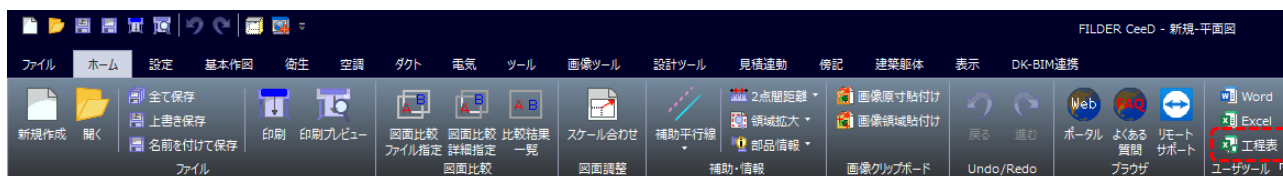


- ⑥ 「NPSTmpl.xltm」を選択し、「開く」ボタンをクリックします。

⑦ 「OK」ボタンをクリックします。



⑧ リボンメニューの「ホーム」タブの「ユーザツール」パネルに「工程表」が登録されます。



Ⅲ. 工程表の起動と保存

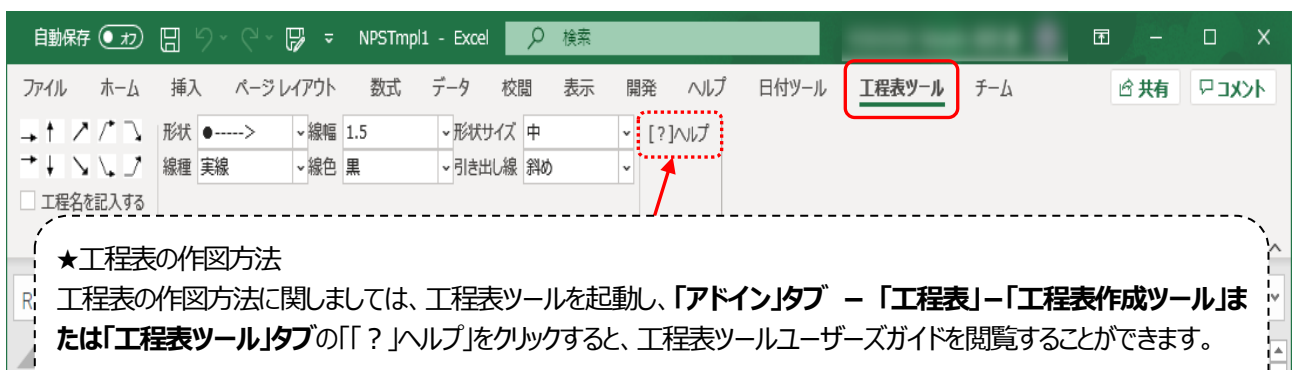
Ⅲ - 1. 工程表ツールの起動

操作説明

- ① FINDER CeeD を起動します。
- ② リボンメニューの「ホーム」タブから「工程表」を選択します。



- ③ 登録した「工程表」をクリックすると、工程表作成 Excel が起動します。
ご使用のパソコンにより、工程表ツールの表示の仕方が変わります。
「日付ツール」タブ、「工程表ツール」タブから工程表を作成する、もしくは「アドイン」タブ内にある「工程表」から工程表を作成します。



ワンポイント



セキュリティの警告

工程表ツールを起動した際、下記メッセージが表示される場合があります。



「コンテンツの有効化」をクリックすると、工程表ツールが有効化されます。

III - 2. 工程表の保存

作成した工程表を保存する際、ファイル形式は「**Excel マクロ有効ブック**」形式で保存してください。

他の形式で保存を行った場合、マクロが無効化され、ネットワーク工程表の機能が使用できなくなります。

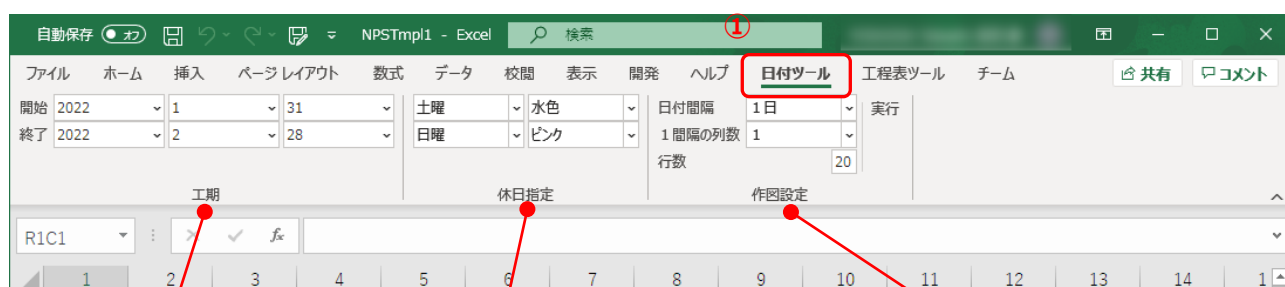


IV. 日付ツール

IV - 1. 日付ツール操作方法

操作説明

- ① リボンメニューの「日付ツール」タブをクリックします。



【工期】

工期の開始、終了の年月日を指定します。
年、月、日はプルダウンメニューから選択、もしくは直接入力します。

【休日指定】

休日の曜日指定と塗りつぶし色を指定します。
同一の曜日を指定した場合は上の行で指定した色で塗りつぶします。
日付間隔を1日に設定したときのみ、休日の塗りつぶしを行います。

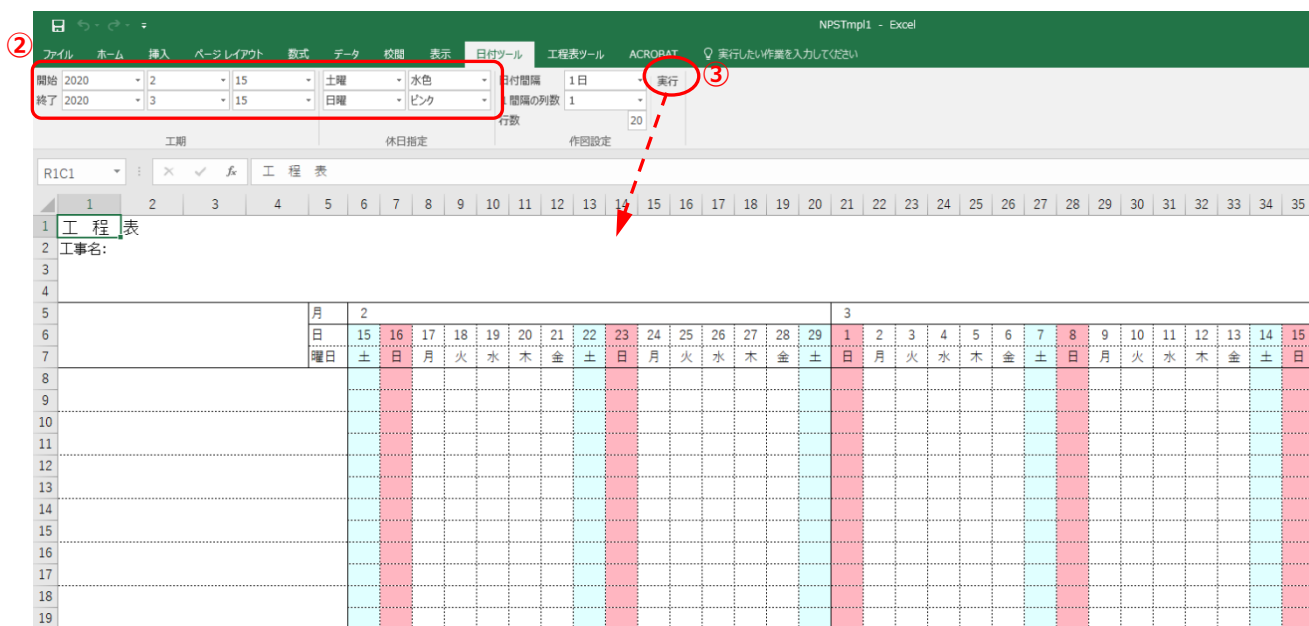
【作図設定】

- 日付間隔：日付を記載する間隔を1日、7日、10日から選択します。
- 1間隔の列数：「日付間隔」で設定した1間隔分の列数を1、2、4、7、10から選択します。
- 行数：工程表用カレンダーの工程部の行数を1～99の範囲で指定します。
- 実行：設定に沿って工程表用カレンダーを作成します。
- キャンセル：「日付ツール」リボンメニューを閉じます。

- ② 工程日時の「開始」と「終了」に日付を設定します。

- ③ 「実行」ボタンをクリックします。

「工程表」という名前の新規ワークシートを作成し、作成したワークシート上にカレンダーを作成します。



IV - 2. 工程表用カレンダーの作成仕様

1. 日付間隔を7日で指定した場合

終了日に関して、終了日を含む週の記述までを行います。

例えば、開始を10月3日、終了を11月9日にした場合、11月9日を含む11月7日の週までを作成します。

※ 下図は1間隔の列数を4に設定した場合。

[illegible]

また、開始の曜日に関しては自動調整をしません。

例えば、開始を10月12日、終了を11月4日にした場合、下図のように10月12日（水）を基点として作成します。

※ 下図は 1 間隔の列数を 4 に設定した場合。

[illegible]

2. 日付間隔を 10 日で指定した場合

月を3分割します。(1日～10日、11日～20日、21日～月)

「21 日～」は、10 日間より過不足を吸収し、月の初めは必ず 1 日から始めるように作成します。

開始日は、指定日を含む月の 1 日からの開始に自動的に調整します。

終了日は、指定日を含む所までを作成します。

例えば、開始を 10 月 15 日、終了を 11 月 15 日にした場合、下図のように 10 月 1 日～11 月 11 日で作成します。

※ 下図は1間隔の列数を4に設定した場合。

[illegible]

IV - 3. 印刷設定

日付ツールで作成したカレンダー全体が A3 横で 1 ページに印刷されるように、下記の設定がされます。

- ・印刷の向き : 横
- ・用紙サイズ : A3
- ・拡大縮小印刷: 次のページ数に合わせて印刷: 横 1 × 縦 1

V. 行程表作図ツール

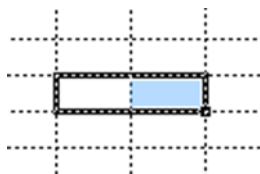
V - 1. 工程表作成ツールの操作方法

操作説明

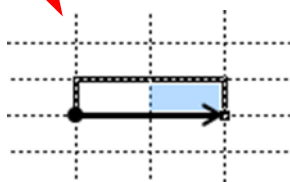
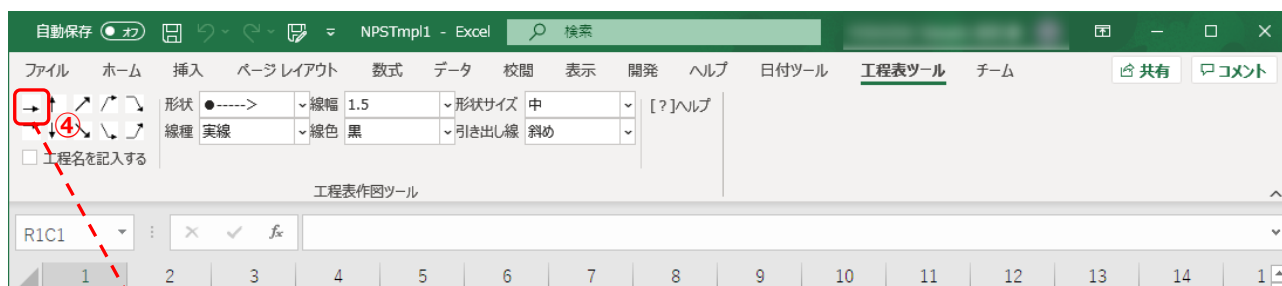
- ① ネットワーク工程表を起動します。
- ② 「工程表ツール」タブをクリックします。



- ③ 作図を行うセルを選択します。



- ④ 工程線作図ボタンにて、作図したい形状のボタンをクリックします。



V - 2. 工程線設定

1. 工程線作図ボタン

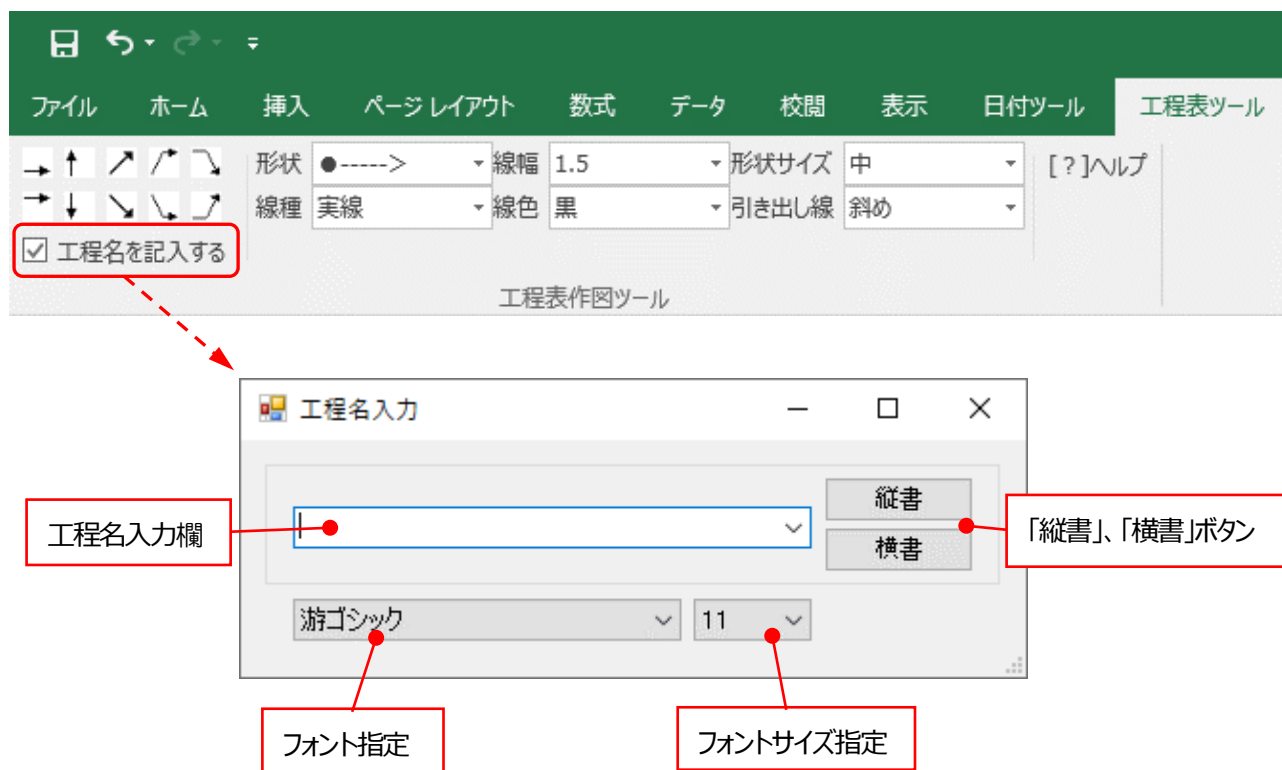
「工程線作図ボタン」をクリックすると、選択したセルに工程線を作図します。



工程線作図ボタン	ボタン説明	作図例
	選択したセルの下端に工程線を作図します。	
	選択したセルの上端に工程線を作図します。	
	選択したセルの左端上向きに工程線を作図します。 ※工程名を入力することはできません。	
	選択したセルの左端下向きに工程線を作図します。 ※工程名を入力することはできません。	
	選択したセルの右斜め上対角に工程線を作図します。 ※工程名を入力することはできません。	
	選択したセルの右斜め上対角に工程線を作図します。 ※工程名を入力することはできません。	
	選択したセルの左下から上に作図後、上端に工程線を作図します。	
	選択したセルの左上から下に作図後、下端に工程線を作図します。	
	選択したセルの上端に作図後、右下がりに工程線を作図します。	
	選択したセルの下端に作図後、右上がりに工程線を作図します。	

2. 工程名を記入する

「工程名を記入する」にチェックを入れ、工程線作図ボタンをクリックすると、「工程名入力」ダイアログが表示されます。



「工程名」を入力し、「Enter」キーを押します。

「縦書」ボタン、もしくは「横書」ボタンをクリックしても工程名を入力することができます。

※ 「工程名」、「フォント指定」、「フォントサイズ指定」は前回の値が初期値表示されます。

ただし、前回の値はブックに保存することはできませんので、そのブックを開いている間のみ有効となります。

ワンポイント



「工程名を記入する」に関して

工程名を記入できる工程線は、左から2列目の縦線・真ん中の斜め線以外の6種類となります。

また、線種が「実線」のときのみ、工程名を入力するダイアログが表示され、工程名を記入することができます。

「破線」、「点線」の工程線に工程名を入力したい場合は、以下の手順にて、実線で作図したあとに線種を変更してください。

- (1) 「工程名を記入する」にチェックを入れ、実線で工程線を選択します。
- (2) 「工程名入力」ダイアログが表示されますので、工程名を入力し、「縦書」もしくは「横書」ボタンをクリックします。
- (3) 作図された工程線を右クリックし、近くに表示されるメニューから「枠線」を選択します。
- (4) 「実線/点線」をクリックし、一覧から変更する線種を選択します。

3. 工程線の設定



- ① **形状**：工程線の先端、終端の形状を 6 種類から選択します。
 - >：始点：黒丸、終点：矢印
 - ：始点：黒丸、終点：黒丸
 - ：始点：黒丸、終点：無し
 - >：始点：無し、終点：矢印
 - ：始点：無し、終点：黒丸
 - ：始点：無し、終点：無し
- ② **線種**：工程線の線種を「実線」、「破線」、「点線」から選択します。
- ③ **線幅**：工程線の線幅を「0.5」、「0.75」、「1.0」、「1.25」、「1.5」、「2.25」、「3.0」、「4.5」、「6.0」pt から選択します。
- ④ **線色**：工程線の線色を「黒」、「赤」、「青」、「水色」、「ピンク」、「緑」、「黄」から選択します。
- ⑤ **形状サイズ**：工程線の始終点の形状サイズを「大」、「中」、「小」から選択します。
- ⑥ **引き出し線**：工程線作図ボタン で作図した際の工程線の引き出し方向を「縦」、「斜め」から選択します。

・引き出し方向を斜めにした場合

・引き出し方向を縦にした場合
- ⑦ **「？」ボタン**：マニュアルを開きます。

ワンポイント



Undo（元に戻す）、編集に関して

工程表ツールで作図した内容に関して、Undo（元に戻す）はできません。

間違っ作図した場合は、削除して書き直してください。

また、工程表ツールで作図した図形などの編集は、Excel の通常機能（コントロールポイント編集など）で編集してください。